

京都グリーン購入ネットワークニュース

京都GPN-news vol.12

買い物で 地球温暖化防止！

TOPICS

1万人のグリーン購入キャンペーン

12/1.土～1/20.日

会員の力をあわせて、京都にグリーン市場をつくらう！
☆抽選ですてきなプレゼントあたります☆

京都グリーン購入ネットワークでは、12月から「1万人のグリーン購入キャンペーン」と称して、環境にやさしい買い物キャンペーンを行います。

*

今の市場をグリーン化していくためには、消費者である私たち一人ひとりの意識を変えていくことが大事です。京都 GPN は今、約 150 の会員がいます。会員企業、自治体、団体の職員がグリーン購入に取り組めば、グリーン市場を創る大きな動きにつながります。また、社員一人ひとりがグリーン購入を実践すれば、会社としての取り組みの幅もひろがります。

ぜひ、これを機会に社員の皆さんに、身近にできる温暖化防止アクションとしてグリーン購入をよびかけましょう。

- ポスターが必要な方は事務局までお問い合わせください。(会員限定)
- チラシはウェブサイトからダウンロードできます。

キャンペーンチラシ



キャンペーン実施期間 2007年12月1日(土)から2008年1月20日(日)



「環境にやさしい買い物宣言」

エコな買い物をします、という方には「環境にやさしい買い物宣言」をしていただきます。ウェブサイト、FAX、メールで受け付けます。環境にやさしい買い物のコツは、キャンペーンのウェブサイトやチラシで紹介しています。

エコなプレゼント

宣言をしていただいた方の中から抽選で、ホテルディナー券、京都府初！有機 JAS 認定のお米や京都産千枚漬などを差し上げます。

取り組み実況中継

我が社、私の家ではこんなことをやってます！という取り組み状況をウェブサイトでお伝えしていきます！

キャンペーンウェブサイト URL
<http://www.k-gpn.org/ichimannin>
京都 GPN ウェブサイトトップページからリンクして
います。

報告

営業・購買からひろがるグリーン購入！

グリーン購入実践講座

と き： 10月16日(火) / 営業担当者対象、10月23日(火) / 購買担当者対象 午後 3:00 ~ 6:00
場 所： 京都工業会館 3階・第2教室

「環境に取り組んでいるけれども、営業戦略にはなっていない」

「とりあえずエコマークのある商品を買っているがこれでいいのか？」

……という会員の皆さんの声を受け、営業、購買担当のグリーン購入実践講座を開催しました。当日は、営業や購買担当、環境担当の方々が参加し、日頃の疑問を出しあったり、情報交換をするなど充実した時間となりました。

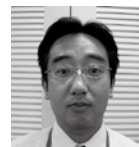
●プログラムの内容●

進行：高橋 伸年さん(コクヨマーケティング株式会社 マーケティング本部 ソリューション部 近畿企画営業グループ グループマネージャー)

- 1) 温暖化について知ろう：DVD「未来の選択」上映
- 2) 事例紹介：環境、グリーン購入からはじまる営業・購買
平安リネン工業株式会社 取締役営業部長 大谷 孝博さん
(株)ホンダカーズ京都法人営業課 駒阪 一博さん
- 3) グリーン購入の基本原則について
- 4) ワークショップ：グリーン購入の取り組みのヒントをみつけよう！
- 5) 懇親会

グリーン購入実践講座を終えて

コクヨマーケティング株式会社
マーケティング本部 ソリューション部
近畿企画営業グループ グループマネージャー
高橋 伸年



グリーン購入の基本となる売り手と買い手を結びつけることができないだろうか……といった発想から、今年度のグリーン購入実践講座は、「営業担当編」と「購買担当編」の2つの講座を開くことになりました。

営業からの視点で購買担当者にどのようなアプローチの方法があるのか？このあたりの話を(株)ホンダカーズ京都の駒阪さん、平安リネン工業株

式会社の大谷さんから、自ら実践されている方法をレクチャーいただき大変参考になったと思います。また、購買担当の方も販売者の成功事例を聞くことで商品選定の参考になったのではないかと思います。今後も色々な立場からの情報を提供することで会員の皆様にお役立ていただければと思います。

紙のグリーン購入冊子を活用しましょう！



11月に配布した、「紙から始めよう 紙で深めよう グリーン購入」冊子、ご活用いただいておりますでしょうか。今、世界的なパルプ不足で、紙のグリーン購入基準は大きく変化しています。これまでの古紙利用に加え、環境配慮型パルプの配合も認めるようになってきました。

この冊子では、コピー用紙やトイレットペーパーといった紙のグリーン購入について分かりやすくポイントを紹介しています。

ぜひ、この冊子を活用し、紙のグリーン購入をすすめましょう。

- 調達担当者の方の参考ツールとして、また営業担当者の営業ツールとしても便利です。必要であれば、会員限定で印刷したものを複数部お送りいたします。ご希望の方は事務局までご連絡ください。(先着順)



— 未来の子どもたちに京都を引き継いでいくために —



お話を伺った木戸さん。社内の環境掲示板には、京都 GPN のウェブサイトのコピーが貼られ、グリーン購入について解説されていた。

12 月からスタートする「1万人のグリーン購入キャンペーン」を活用して、社員一人ひとりのエコ生活の取り組みをはじめ、都タクシー株式会社執行役員、総務部長 木戸昇さんにお話をうかがいました。

■全社員で取り組むエコ生活

「全社員を巻き込んでいきたい」と木戸さん。節電、節水、マイカー節約、ごみの少量化など、今年12月から毎月全社員、総勢1200人が各テーマに取り組み「エコ生活宣言」をスタートする。今回は同じく12月にスタートする「1万人のグリーン購入キャンペーン」を活用。各自が「チャレンジシート」に取り組む内容を書き、私生活で実行。「こんな省エネ家電を選んで成果が上がった」といった成功例を社内「環境掲示板」に掲示、週二回の全体点呼の際にも紹介する。「ぎっと面白い事例が出てくると思いますよ」と木戸さ

ん。会社としての環境の取り組みも大事だが、社員が取り組めば、社員の家族や地域、学校へと波及効果が生まれ、効果の幅が広がる。

■働く場所への恩返し

都タクシーでは「自分たちが働き、育んでもらっている場所、公道、そして京都、地球に恩返しをしていきたい」という想いが設立当初から大切にされている。例えば、今でこそCO₂排出量を相殺する目的で森林を保有している会社はあるが、まだ木炭車だったころから岐阜県と愛知県に47万haの森林を持つている。排気ガスで空気を汚している分、空気をきれいにしなくてはいけない、と考えることだった。

97年から、ほぼ毎月1回、早朝3時30分から7時まで、公道のごみ拾いも続けている。多い月は約800人の社員が参加。ポイ捨ての耐えない道を自分たちの手できれいにしていきたいという想いで創設者がはじめた。空き缶やペットボトル、タバコなどを、2時間かけて拾う。早朝に実施するのは勤務交替時間であること、「見てもらうものではないから」。こうした取り組みが社員の環境への意識を育てている。

■ごみを根本的に出さない


2004年に環境マネジメントシステムを導入。自分たちが現状を把握し、自分たちの意識で取り組めるもの、と考える国土交通省が認定するグリーン

経営を取得した。タクシー業界としては京都初。「これもごみ拾いボランティアの延長線」と木戸さん。ごみを拾う活動から、ごみ（＝排気ガス）を出さない取り組みをしよう、と考えたという。都タクシーは、全国平均5km/1ℓのところ6.2km/1ℓと燃費がいい。これにはエンジンルームの特殊な掃除に秘密がある。「20、30年前から先輩方がやっていました」。現在は全車両にアイドリングストップ車を導入。停車するとエンジンが止まるため、お客さんから「大丈夫？」と聞かれることがあっても、逆に説明をしてアイドリングストップをすすめているそうだ。

■女性の雇用をすすめる

最近では、女性の雇用、特に子育て中のお母さんの雇用に力を入れている。採用者は2日間の研修、実技試験を受け、合格者は「子育てタクシー」として子どもの塾や学校への送り迎えなどを担う。「家庭第一」を約束してもらい、勤務体系も柔軟に対応しているという。会社として不安は？とときどき、逆に「お客さんに安心してもらえるし、女性ならではの気配りが喜ばれています」。新たなビジネスとしての強みになっている。「もっと女性を雇用していきたい。パートではなく、社員として復帰してほしい。女性だけのハイヤーチームや婚礼車などやってみたいですね」と木戸さんの夢は広がる。

役員紹介



亀岡市
環境市民部環境政策課長 **西田 新司** さん

今年の4月から京都 GPN に参加させて頂いています。亀岡市では、独自のEMSを運用して地球環境問題に取り組んでいます。また、地球温暖化防止地域計画を策定し、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で温室効果ガスの削減に努めています。実効性のあるグリーン購入は重要な役割を担うものであり、普及を図っていきたく考えています。

公共交通機関になりたい。また、今後、高齢者の方々が利用しやすい乗り物として、やさしいタクシーをめざしていきたい。

京都のまちを将来世代に継承していくために、いかなるタクシー会社であるべきか、環境、福祉といった側面からのチャレンジは今日も続く。

(文/事務局 有川 真理子)



2007年10月10日発行

地球温暖化防止が根源的な変革として成果が見えないのは、多くの事業・施策・行動が個別の対症療法に留まっているからではないでしょうか？ 多様なセクターの「協働」を実現したグリーン購入ネットワーク（GPN）は、経済活動の原点「買う」から始めるエコという、穏やかな意識革命を果たしてきました。

この本は、GPNの発足からの10年を概観し、グリーン

★グリーン購入のヒントが満載！★

新刊書『「買う」から始めるエコ。』

お申込承り中

購入大賞受賞85団体の取り組みを紹介しました。100冊のCSR報告書を収集・分析するよりも、たった1冊ですぐに始められるグリーン購入のヒントが満載。導入のための資料として最適の案内書です。ぜひ、ご活用ください。

■ ISBN 978-4-902644-06-7

■ A5判、272ページ

■ 定価：本体1800円＋税（送料無料）

■ 発行・申込先：有限会社 紀書房 www.tadas.com

〒606-8202 京都市左京区田中大堰町129

電話 075-781-8925 ファクス 075-711-5430

グリーン名刺交換会

会員さんの誌上名刺交換会コーナーです。

西田製函 株式会社

■担当者：開発企画 大野直洋

■連絡先：〒613-0036

京都府久世郡久御山町田井新荒見140番地

TEL) 0774-43-5394

FAX) 0774-43-5390

<http://www.nishidaseikan.com>

■グリーン購入に関して企業PR

リユースコンテナ

弊社では、使えば使うほど環境に優しい折り畳みコンテナ「再坊」を勢力的にアピールしています。一度購入していただくと何度もリユースでき、無駄な梱包資材の削減にも繋がります。地球環境に適した梱包資材として、これからも販売促進し、さらに環境に良い製品を製造・開発していきます。



宝酒造 株式会社

■担当者：環境課長 中尾 雅幸

■連絡先：〒600-8688

京都市下京区四条通烏丸東入

TEL) 075-241-5186 FAX) 075-241-5126

E-mail) eco@takara.co.jp

■グリーン購入に関して企業PR

4Rへの取り組み

酒類業界の環境問題で大きな比重を占める「使用後の容器包装廃棄物（ごみ）問題」の解決に向け、エコプロダクツ（環境に配慮した商品）を開発・販売しています。特に中身が消費された後の容器は廃棄物となるため、リデュース（減量化）・リユース（再使用）・リサイクル（再資源化）の3Rに加え、リフューズ（発生回避）となる焼酎のはかり売りにも取り組んでいます。

詳しくは、

<http://www.takarashuzo.co.jp/>

環境への取り組みをご覧ください。



はかり売り用 200 Lタンク

京都グリーン購入ネットワーク 会員数 (2007年11月末現在)

■会員数 : 140 (内訳: 企業104/自治体7/団体21/個人8)

■新入会員: 2 (内訳: 企業2/団体0/行政0/個人0) 株式会社カーボテック、都タクシー株式会社

お問合せ/入会申込み

京都グリーン購入ネットワーク事務局 <http://www.k-gpn.org>

【TEL】075-241-4664 (FAX同じ) 【E-mail】 kgpn@dolphin.ocn.ne.jp

〒604-0932 京都市中京区寺町通り二条下る呉波ビル3階 特定非営利活動法人 環境市民 内



京都グリーン購入ネットワーク

2007年12月発行